



# Milky Way

## 2020. 4月号

### なりたい自分になるために

昨年度、学年順位、模擬試験偏差値などで大きく成績を上げた生徒の共通点を見いだすために、担当の教室長にインタビューをしました。その中で見えてきたのが、以下のような点です。今号ではこの点についてちょっと考えてみましょう。

- いつの段階で、どの程度の成績を獲得したいのか、目標がはっきりしている
- ライバルとなる競争相手（仲間）がいる
- 先々の志望校のイメージがある
- 定期的な学習時間が確保できている
- 終了後のテストに対する振り返りをしている
- ある種の強迫観念（やらないとマズい…）のようなものを感じている

大人の私たちからすれば、どれも当然のことといったイメージです。そして、私たち塾の職員が常日頃から塾生に伝えていることなので、どの塾生も同じようにこの理屈は知っている（理解している？と信じたい）ことです。

しかし、現実的にその成果については、お子様によって差があることも事実。「同じ塾に通い、同じ先生の授業を受けて、同じように勉強をしているのに、どうしてウチの子は成績が伸びないのかしら」と思われる保護者様もいらっしゃるでしょう。

したがって、1年間の学習活動を実のあるものにするために、いまこの時期から少しずつで良いので上記の内容をクリアしていきましょう。

結局、勉強においては「これをしたら必ず上がる」という会心の一撃は存在せず、確固たる目標をもち、それに向けた現在地点との差を日々の学習活動によってコツコツ埋めていくことが何より必要なのです。それならば、まずは「ライバル設定」や、「どんな高校に進学したいかを考えてみる」といったところから始めてみてはいかがでしょうか。来年の3月に、お子様が今よりも大きく成長された姿をイメージし、ご家族で話し合ってみてほしいと思います。

